

# 体指よこすか

## VOL. 11

平成23年6月1日  
横須賀市体育指導委員協議会  
発行責任者 武 雅 兄

### 平成22年度末・平成23年度新年度 横須賀市体育指導委員協議会総会

平成23年4月17日(日)総合福祉会館5階ホールに於いて横須賀市体育指導委員協議会総会が開催されました。

まず、永年横須賀市のスポーツ振興に尽力頂いた、地域体育振興功労者5名と体育指導委員15名に対して永妻教育長より感謝状が贈呈され、感謝の言葉を述べられた後、昨今の少子高齢化社会で地域に於ける体育指導委員の役割が重要視される中、益々のご協力を願うと挨拶がありました。

引き続き横須賀市体育指導委員委嘱式が行われ、教育長から体育指導委員を代表し馬堀学区の武氏に辞令が一括交付され、委嘱式が終了しました。

次に、スポーツ課伊藤課長による横須賀市スポーツ振興基本計画に関する講演会が行われました。平成23年度～平成33年度(11年間)を3年・4年・4年に区分して事業の実施が行なわれ、～豊かなスポーツライフの実現をめざして～のスローガンのもと横須賀市のスポーツ振興の現状課題すなわち、1・子どもの生活習慣の乱れと体力の低下、2・社会人のストレス、生活習慣病の解消、3・健康寿命の延伸、生きがいづくり、4・市民の相互交流の4本の課題に対して11の施策を施し、目標指標の1つである成人の週1回以上のスポーツ実施率を平成21年度(49.6%)を平成25年度末(55%)平成32年度末(65%)迄の11年間で約15%引き上げる事を目標に取り組む事等が紹介され、横須賀市のスポーツ振興基本計画実現の為に、今後益々体育指導委員の活躍が期待されている事を身にしみて感じ取ると共に今後11年間の横須賀市スポーツ振興に関する指針が示された事により、より地域に根づいた事業を展開し豊かなスポーツライフ実現に向け地域住民の先頭に立ち活動を展開して行きたいと思えます。

休憩後、平成22年度末総会が開会され、武会長か

ら22年度の事業を振り返ると共に、各役員に対して日頃の事業活動に対するお礼を交えた挨拶がありました。議事審議は、議長に富士見学区の林氏が選出され、22年度の事業報告並びに決算報告及び審査が報告され活発な論議の元、満場一致で承認されました。

引き続き、平成23年度新年度総会が開催されました。開会宣言に続き、議長に桜学区の池田氏が選出され、各議題の審議に入りました。

まず、1号議案である、会長・副会長選出に移行し、司会者から提案のあった会長に馬堀学区の武氏、副会長に大楠学区の鈴木氏・森崎学区の石川氏・富士見学区の林氏が満場一致で承認されました。

その後2号議案である23年度の事業計画(案)及び収支予算(案)、3号議案の会則改定に伴う内容が各担当役員から提案された後、具体的審議に入り、活発なる論議の末、満場一致で承認され、17日以降執行される事となりました。

鈴木副会長による閉会の言葉をもって平成23年度横須賀市体育指導委員協議会新年度総会が終了しました。

事業部部長 池田 正英(桜学区)



## 活発な新任指導委員研修会

5月21日(土)、9時～15時まで横須賀アリーナミーティングルーム・サブ体育館を使って研修会を実施しました。新任体育指導委員および常任理事41名が参加して、教育委員会スポーツ課伊藤課長より「非常勤職員としての体育指導委員」(スポーツ振興法から、体育指導委員規則)について講義を受けました。次に体育指導委員協議会武会長より「H23年度事業計画と協議会活動について」講義を受けました。その後総務部、広報部より主な活動の状況説明がありました。午前の最後は、今横須賀市で注力しているニュースポーツのソフトバレーボール体験をしていただきました。新任の指導委員からは誰でも簡単にできるスポーツだと多くの声が出されました。

昼食をはさんで午後は、午前学んだことや先輩指導委員から聞いていることも含めて、「体育指導委員の役割」「体育指導委員としてやりたいこと」について、6グループに別れ、常任理事がコーディネーターとなりディスカッション、その後発表をしました。

グループ討議を重ね指導委員としての役割を認識するとともに、地域では指導委員として、情報発信やソフトバレーボールの普及および地域住民との橋渡し役をしたいなど多くの意見・提案などが出され活発な研修会となりました。フレッシュな仲間とともに健康で明るい街づくりを進めて行きたいと思えます。

副会長 林 但(富士見学区)



熱心に講義を聞く参加者



ソフトバレーボール講習



ソフトバレーボール体験



武会長の講義



グループ討議

## 平成22年度地区別交流研修会実施報告

### 北地区

平成22年度の体指協議会の目玉行事の一つ、地区別体育指導委員研修会と情報交換会を、北地区は2回開催しました。

第1回は5月30日(日)、第2回は11月14日(日)です。

会場はそれぞれサブアリーナと鷹取中学校体育館で行いました。

北地区は体育指導委員9学区総勢58名です。参加者は第1回39名、第2回34名で参加率がそれぞれ67%、58%と過半数の方の参加の下に第一部ソフトバレーボール研修、第二部情報交換会を実施致しました。各学区の常任委員が中心となり、準備会を各2度程開催し、自分たちだけで要領・機材手配などの事前準備を行いました。

当日は、参加者の学区・氏名が判る様に名札をそれぞれつけ、コミュニケーションを取れる様に計画しました。

第一部の研修会は参加者をチーム(4名～5名)に分け、それぞれに精通した人を配しチームリーダーとなってもらいました。試合をするチームと審判チームを順次交代し、研修としました。

第二部は情報交換で学区毎に活動の内容、問題点等を出して頂き情報交換を実施しました。最後にアンケートを参加者全員に書いて頂き散会としました。

ソフトバレーボールの研修についてはまだまだ不満、物足りなさが否めない事は、やむを得ない事と感じていますが、情報交換など親交・懇親には多くの体育指導委員が一堂に会し、成果は大きいと考えています。今後とも続けて行ける様に、期待するものです。

広報部副部長 押井 秀夫(鷹取学区)



### 中央地区

平成22年8月15日に中央地区の交流会を横須賀アリーナで開催しました。

中央地区は、本庁地区7学区衣笠地区7学区からなる地区で指導員数102名とマンモス地区です。

今回の会の趣旨は、「多様化した体育指導委員の職務を遂行するため、受け入れやすい近隣学区との情報交換の実行」「体育指導委員間の親睦と学区間の交流、情報交換」を目的とする。

以上の内容を踏まえ、各々実行委員会の前段階で役員会を開催して、役員意識合わせをすることにより、実行委員会の議事進行をスムーズに行うことができた。

ただ本庁・衣笠行政地区と14学区であったため小回りが利かず実行委員の温度差を感じた。

情報交換会では、少子高齢化問題・新興マンション群との係わり合い・参加者の引き込みが主な共通点で今後会を重ねて検討していく必要がある。

第一回目と言うことで他地区を参考に進めてきましたが、中央地区は、本庁の様に商業地域で他の学区に無い特異性があり色々難しい面が山積している。

中央地区は14学区でスタートしたわけですが102名で半分が参加するとどうしても会場有きで横須賀アリーナ等大きいところを探した為、8月15日のお盆の真ただ中の設定になって参加者が予想以上に少なかった。

実技競技がニュースポーツのファミリーバドミントン。初めての方が大半で、今後もやってみたいという方が大半でした。

今回は午前中のみの実施で、ニュースポーツと情報交換のみで終わったこともあり、他地区の指導委員との話す場が少なかったという声も聞こえました。

今後は、交流会を常態化すること。交流会のマンネリ化にならないよう新鮮味のあるテーマで指導委員の資質の向上につながると思います。

副会長 石川 輝雄(森崎学区)

## 西地区

1月23日(日)8時45分から武山小学校体育館を利用し、第二回の交流会を実施した。第一回交流会にキンボールを実施したところ、「おもしろい」「西地区で大会をやろう」と盛り上がりました。そこで第二回は午前中キンボール大会、午後はソフトバレーボール体験を行ないました。また、昼休憩は食事を取りながら学区の活動状況や情報交換にあてました。

今回は大楠学区が中心に進めていただきましたが、一番工夫した点は地域でスポーツを通じた健康づくりでは体育指導委員のほかに学区の体育委員(理事など学区によって名称は異なる)を巻き込んでの活動が必要であると考え実施しました。積極的に取り組む体育委員の方から「ソフトバレーボールは身近でできるスポーツだ」との声も聞きました。参加者は体育指導委員、振興会長、体育委員など39名の方の参加で無事行事を終えました。賞品は地域柄農業が盛んな地区であり、女性の細やかな配慮のもと上位のチームから好きな花の鉢を持ち帰る趣向もありました。

今年度の交流会の開催時期など検討に入っています。

副会長 林 但(富士見学区)

## 普通救命講習会

5月29日(日)に、南体育会館にて普通救命講習会が開かれました。当日は横須賀市消防局救急救命士の熊澤氏・伊藤氏と、インストラクター2名の方達による実践的な講義を受けました。私個人は初めての受講だったのですが、人工呼吸から胸骨圧迫等、人形を使いトレーニングを行いました。実際に救援活動をなさる皆さんのお話は、実のある事ばかりで、いざ自分自身が救援活動の場でどこまで出来るか分かりませんが、受講者の質問にも熱心にお答えいただき、3時間の短い間でしたが、とても充実した講習会となりました。

後半には、AED講習もあり、こちらも詳しく教えて頂きました。ただ、救急隊の方は安全で無理のないように実行し、重要なことは「救命のリレー」が上手く行くことが一番だと説明がありました。

この講習は何回受けても良いそうで、まだ少し自信がないな、と思う方は次回またチャレンジしてみてもはどうでしょう。

広報部部長 原 暁彦(長浦学区)



## 編集後記

23年度に入り、各部も新体制になりました。私達「広報部」も部長・副部長が変わりました。これから行事や理事会などでお目にかかると思いますのでよろしくお願いたします。

広報部部長 原 暁彦(長浦学区)



写真左より、  
押井副部長・金森副部長・原部長